

◆企画名	関大なんでも Q&A
日程	平成 25 年 4 月 5 日 (金) ~ 4 月 19 日 (金) ※期間中、月曜・水曜・金曜に実施
場所	総合学生会館凜風館前ブース
参加者数	9 名 (ピア・サポータ)
目的	

関西大学に入学したばかりの新入生は、誰かに相談したくとも相談相手を見つけることが困難であり、また、それぞれの学内部署の機能に応じた学生支援もわからない。

本事業では、こうした右も左も分からない新入生に対して、授業やサークル活動などをはじめ、大学生活（勉強とバイトの両立など）に対する不安を解消することを目的として、屋外にブースを設置し、個別相談に応じる。間接的にはあるが KU サポーターズの活動を新入生に認知してもらうことも目的とする。

内 容

実施時間に凜風館の入り口前にブースを設置し、訪れた方の質問に答える。

感 想

今年度は、毎年オリエンテーション期間に行っている相談活動の延長を試みた。オリエンテーション期間だけでは新入生の質問や疑問に十分に答えられない可能性を考慮し、この企画が発案・実施されたが、実際の利用ケースは全 31 件で、予想を下回る結果となった。オリエンテーション期間と比較しても、実施日数は倍であったが、総合件数は半分以下であった。理由として、実際に授業が始まったことで各学舎での行動が多くなり学生が凜風館周辺へ訪れる機会が少なくなったことや、新入生も大学に慣れはじめたことで需要が減ったことなどが考えられる。質問内容は道案内・施設案内が主であり、特に、奨学金関連相談窓口・健康診断の実施場所・教科書販売・履修関連の質問など、受付・締切や実施期間が決まっているものに関するものが多かった。

本事業の目的は、新入生の抱える「どこに相談すればいいかわからない問題」を解決し、大学生活への不安を軽減させることであった。4 月は、この時期にしか行われず尚且つ学舎以外の施設で実施されるものが多く、これらは新入生の戸惑いになりやすい。質問内容も主に施設案内で、この時期に屋外ブースを設置し事業を行う意味はあったと考えられる。

新歓オリエンテーションの延長という新たな企画を行ったが、見込みには到達しなかったものの、確かな実感を得ることができた。KU サポーターズとして、受け入れることに重点を置いた活動だけでなく、能動的に学生に働きかける活動を行う際の一つの指標にもなると思われる。このような新たな取り組みを通して、積極的なピア・サポートとはなにかを考え、実行していきたい。

改 善 点

今回の利用ケースの結果を踏まえると、実施場所・日程の変更が考えられる。実施場所の屋外ブースを凜風館ではなく、より学生の目につきやすく話しかけやすい場所へ移動させ、また、最も利用者が多かったのが 2 日目の 8 日であること、最終日にはケースが 0 件であったことなどから、企画時期を 4 月上旬に集中させる方が学生のニーズに一致した活動になるのではないだろうか。

シフト体制の見直しも課題といえる。今回の企画は、昼休みと 3 限に行われたが、昼休みのシフトメンバーが 2 限に授業があった場合やその後の 3 限に授業が入っていた場合などは、準備に遅れがでたり、片付けに焦ったりすることが度々おこっていた。シフト体制を再考し、メンバーの学業に影響を及ぼさない体制を整える必要がある。活動人数と実施時間の調整を行い、スムーズに活動が行える環境について再検討しなければならない。